報道関係各位
プレスリリース

2024 年 12 月 19 日
株式会社 Liberaware

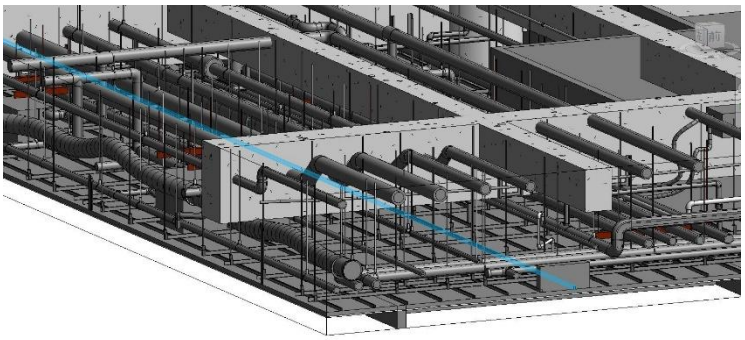
西部ガスホールディングスと共同実証実験を実施
IBIS2 とレーザースキャナーを活用した建物 BIM 化に成功
～今後の建設 DX 推進に向けた BIM 事業立ち上げを検討～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は、西部ガスホールディングス株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：加藤 卓二、以下「西部ガス HD」）と共同で、建設 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を目的とした BIM（Building Information Modeling）事業の立ち上げを検討するにあたり、西部ガス HD が保有するビルにおいて、「IBIS2」およびレーザースキャナーを活用した BIM 化の実証実験を実施し、本アプローチの有効性を確認しました。

建設業界では、業務効率化・生産性向上・環境負荷削減に向けたデジタル技術の導入が急務とされています。今回の実証実験では、当社の屋内点検用ドローン「IBIS2」及びレーザースキャナーを用いて建物内のデータを収集し、高精度な 3D モデルを構築しました。このモデルをもとに、設備維持管理における DX 推進の可能性を検証した結果、BIM 化の実現性とその有用性が確認されました。

■実証実験の様子





この結果を踏まえ、今後以下の分野での取り組みを検討しています。

（1）維持管理の効率化：BIM データを活用し、建物の運用・保守を効率化する方法を模索。
（2）不動産売買時のリスクの見える化：BIM モデルを活用し、不動産取引時のリスクを可視化し、情報の非対称性を解消する仕組みの構築。

当社は、本実証実験及び今後の事業化を通じて、西部ガス HD の BIM 事業立ち上げ、並びに建設業界におけるデジタル化の促進を支援し、ミッションである「誰もが安全な社会を作る」ことの実現に向けて邁進してまいります。

本件は当社の成長戦略に沿った既存サービス適用範囲の拡充の一環として位置づけており、今後も、インフラ・プラント現場の DX を進めるため、ドローンのみならず、ソフトウェアに係る DX ソリューションも広めるべく邁進してまいります。

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）
代表者：閔弘圭（ミン・ホンキュ）
所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1
設立：2016 年 8 月 22 日
事業内容：・産業分野に特化した非 GPS 型小型ドローンの開発
・IoT 技術・人工知能を活用したシステム開発
・小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービス
・小型ドローン「IBIS」の販売・レンタルサービス
・映像加工・編集サービス（距離計測、異常検知等）
URL：https://liberaware.co.jp/

〈本件に関するお問い合わせ先〉
株式会社 Liberaware　広報：向山
TEL：090-7195-4421 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com